

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	あり
----	----

応募概要	分野	音楽	種目	オーケストラ等
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	こうえきしゃだんほうじんおおさかふいはーもにーきょうかい		
	制作団体名	公益社団法人大阪フィルハーモニー協会		
	代表者職・氏名	理事長 奥 正之	団体ウェブサイトURL	
			https://osaka-phil.com	
	制作団体所在地	〒 557-0041	最寄駅(バス停)	大阪メトロ四つ橋線「岸里」駅
		大阪市西成区岸里1-1-44		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	おおさかふいはーもにーこうきょうがくだん		
	公演団体名	大阪フィルハーモニー交響楽団		
	代表者職・氏名	常務理事 小川 弘	団体ウェブサイトURL	
			https://osaka-phil.com	
	公演団体所在地	〒 557-0041	最寄駅(バス停)	大阪メトロ四つ橋線「岸里」駅
		大阪市西成区岸里1-1-44		
	制作団体 設立年月	昭和25年4月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		※別添あり(別添①参照)	※別添あり(別添①参照)	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	野瀬 遼太郎
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	南 政延
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		nose.ryotaro@osaka-phil.com		0666567711

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	昭和22(1947)年1月 朝比奈隆を中心として大阪フィルの前身「関西交響楽団」を結成 昭和25(1950)年4月 「社団法人関西交響楽協会」を設立し、関西交響楽団の助成にあたる 昭和35(1960)年5月 関西交響楽団を解散、新たに「大阪フィルハーモニー交響楽団」を結成 昭和57(1982)年5月 協会の名称を「社団法人大阪フィルハーモニー協会」に改める 平成8(1996)年4月 社団法人大阪フィルハーモニー協会が、大阪フィルハーモニー交響楽団(任意団体)を統合 平成15(2003)年4月 第2代音楽監督に大植英次が就任(～平成24(2012)年3月) 平成24(2012)年4月 公益社団法人大阪フィルハーモニー協会に移行 平成28(2016)年7月 大阪フィルハーモニー交響楽団第500回定期演奏会を開催 平成30(2018)年4月 第3代音楽監督に尾高忠明が就任 令和4(2022)年4月 楽団創立75周年を迎える 平成29(2017)年度 文化庁芸術祭優秀賞受賞。 平成30(2018)年度 関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞受賞。	
	学校等における公演実績	昭和22年、大阪フィルハーモニー交響楽団の前身である「関西交響楽団」の結成当初から、オーケストラの普及活動のために、学校の体育館や地元施設等、様々な会場で学生のための公演を重ねています。近年では令和3年度・2回、令和4年度・10回、令和5年度・9回、令和6年度・8回、令和7年度・11回(予定)学校を対象にした公演を開催しているほか、小編成によるアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでおり、令和3年度・11回、令和4年度・14回、令和5年度・15回、令和6年度・14回、令和7年度・15回(予定)幼稚園や小中学校の体育館などで演奏会やワークショップを行っています。 連携協定を結ぶ枚方市との共同事業として、令和4年度より「枚方ジュニア・ウィンド・オーケストラ」の活動を開始、楽団員を講師として派遣して約50名の中高生に向けて指導を行っています。 また、平成11年から開催している自主事業「親子のためのオーケストラ体験教室」は、25年以上続くロングラン企画となり、通算公演回数は98回、観客動員数は延べ2万8千人を超えています。そのほか、企業や公益法人、自治体からの依頼による「ファミリーコンサート」なども手掛けています。	
	特別支援学校等における公演実績	平成26年度 柏崎特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供の育成事業」) 平成29年度 福岡市立南福岡特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供の育成事業」) 平成30年度 東京都立南花畑特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供の育成事業」) 令和元年度 兵庫県立いなみ野特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」) 令和6年度 茨城県立境特別支援学校(文化庁「舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)」)	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://1drv.ms/v/c/87d89b6510c1fca7/EahJhr4JNdRLpsTku2A9P-MBu6anK0k_nMmZFMEkvMuSsg	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	なし
		PW:	なし

別添 あり

【公演団体名 大阪フィルハーモニー交響楽団 】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○

企画名 大阪フィルハーモニー交響楽団＜Enjoy！オーケストラ！＞

企画のねらい

オーケストラを身近に感じていただく貴重な機会の一つとして、フルオーケストラの迫力ある演奏を体感していただきます。クラシックの名曲の数々を、普段授業等で使っている体育館を舞台に、オーケストラの醍醐味と魅力を余すところなく「見て・聴いて」「体感して」いただけるプログラムをお届けします。また、体験型のプログラムを充実させることで、あっという間に時間が過ぎてしまうような飽きのこない演奏会となるように工夫しています。

演目概要・演目選択理由

- 【演目概要】
- 大阪フィルが誇る迫力のあるオーケストラサウンドを体感いただける本格的なクラシック作品と様々な体験型プログラムでオーケストラの醍醐味と魅力を余すところなくお届けいたします。
1. オープニングはヴェルディの歌劇「運命の力」序曲。力強く迫力あるサウンドで演奏会の幕開けです。
冒頭から一気にオーケストラへの興味を引きつけ、これから始まる演奏会への期待を高めます。
 2. オーケストラを構成する各楽器について、ボブ佐久間作曲「インストゥルメンタル・ブルース」の演奏に乗せてセクションごとに紹介するとともに、各楽器の音色をお楽しみいただきます。
 3. アメリカを代表する作曲家の一人ルロイ・アンダーソン。身近なものを題材にしたユーモアあふれる作品で知られるアンダーソンの作品から、仕事に追われる忙しいオフィスの情景をユーモラスに描いた「タイプライター」を演奏します。
 4. 続いてルロイ・アンダーソンの作品から「トランペット吹きの休日」をお届けします。運動会のBGMでもおなじみの作品でトランペットパートの疾走感あふれる演奏をお楽しみください。
 5. ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」の冒頭を、最大3名の代表児童・生徒の皆さまに指揮していただきます。
指揮者の役割を学ぶとともに、指揮する人によってどのように演奏に違いが出るのかも合わせて体感いただきます。
 6. クラシック音楽史上最も有名な作品といっても過言ではない、ベートーヴェンが作曲した交響曲第5番「運命」。
「運命」の動機として知られる冒頭のジャジャジャジャーから始まる第1楽章を、フルオーケストラでご堪能いただきます。
 7. [小学生] ボディ・パーカッション共演
手拍子や足踏みなど、自分の身体を使って奏でるボディ・パーカッションでオーケストラと一緒に演奏します。
 7. [中学生] オーケストラ分解演奏
スメタナ作曲の交響詩「モルダウ」を題材に、川が流れていく様子の中で作曲家が各楽器に与えた描写や役割などを実演を交えながらわかりやすく解説します。
 8. 天神祭のだんじり囃子や生国魂神社の獅子舞の囃子など、大阪を代表するお祭りのリズムを使って描かれた大栗裕作曲の「大阪俗謡による幻想曲」。大阪フィルの大切なレパートリーの一つとして演奏をお届けいたします。
 9. オーケストラの伴奏に合わせて、校歌や合唱曲などを歌唱いただきます。なお、学校からの要望に応じて吹奏楽部やオーケストラ部、金管バンドとの共演などにも変更可能です。
 10. 演奏会の最後はエルガーが作曲した行進曲「威風堂々」第4番で締めくくります。音楽監督である尾高忠明とも縁の深いエルガーの作品で、大阪フィルの迫力あるサウンド、ダイナミックな演奏を存分に味わっていただきます。

【演目選択理由】

本格的なクラシック作品をフルオーケストラの迫力あるサウンドでお楽しみいただくとともに、様々な共演プログラムを組み込むことで、オーケストラの醍醐味と魅力を余すことなく味わっていただけるプログラムとなるように選択いたしました。

① 見て・聴いて
オープニングのヴェルディ作曲「運命の力」序曲から、メインのエルガー作曲「威風堂々」第4番まで大阪フィルが誇る迫力あるサウンドをお楽しみいただける、クラシックの名曲の数々をご用意いたしました。普段授業で使用している体育館がコンサートホールとなり、その会場に響き渡るフルオーケストラのダイナミックなサウンド、子どもたちの目の前で繰り広げられる演奏を通じて、オーケストラの醍醐味と魅力を余すところなく味わっていただきます。また「大阪俗謡による幻想曲」は、元大阪フィルのホルン奏者でもあった大栗裕氏の代表作としても知られており大阪フィルにとっても大切なレパートリーの一つです。この作品を通じて、大阪の賑やかな雰囲気や大阪に根付くお祭りの様子などを感じていただき、「大阪」という街をより深く知っていただくきっかけになれば幸いです。

② 体感して
指揮者体験コーナーおよびボディ・パーカッション共演、合唱共演などの共演プログラムを通して、この演奏会で初めてオーケストラを目の当たりにする児童・生徒の皆さまにも楽しんでいただけるように体験型プログラムを充実させています。指揮者体験コーナーでは指揮する人によって、どのようにオーケストラの演奏に違いが出るのかを感じていただくほかボディ・パーカッション共演では手拍子や足踏みなど、自分の身体を使いながらオーケストラと共演し、楽しく演奏に参加していただきます。また合唱共演では、普段はピアノ伴奏で歌唱している校歌や合唱曲などをフルオーケストラの伴奏で歌える貴重な機会です。ぜひオーケストラとの共演に向けて、普段の音楽の授業でも意欲的に合唱に取り組んでいたくきっかけになれば幸いです。

プログラムの内容	児童・生徒の参加 または体験の形態	<p>【指揮者体験コーナー】 最大3名の代表児童・生徒に、ベートーヴェンが作曲した交響曲第5番「運命」の第1楽章冒頭を指揮していただきます。ジャジャジャーンで知られる「運命」の冒頭を、実際に指揮台に立って皆さまの前でオーケストラを指揮していただける貴重な機会です。指揮の方法などは指揮者が事前にレクチャーしますので、初めてでも安心してご参加いただけます。</p> <p>【ボディ・パーカッション共演】 オーケストラの演奏に合わせて、手拍子や足踏みなど自分の身体の一部を使って音を奏でる「ボディ・パーカッション」。児童・生徒の皆さま一体となって、楽しく身体を動かしながら共演いただきます。打楽器セクションのメンバーがリズムをレクチャーしますので、その場ですぐに参加することができ、オーケストラと共演するという醍醐味と魅力を体感いただけます。</p> <p>【合唱共演】 普段ピアノ伴奏で歌唱している校歌や合唱曲などを、フルオーケストラの演奏に合わせて一緒に歌唱いただきます。なお、学校からの要望に応じて、吹奏楽部やオーケストラ部、金管バンドとの共演などにも変更可能です。</p>		
	児童・生徒の 参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	会場収容人数内であれば制限なし
			鑑賞人数目安	会場収容人数内であれば制限なし
	本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>1. ヴェルディ／歌劇「運命の力」序曲（7分） 2. 【楽器紹介】ボブ佐久間／インストゥルメンタル・ブルース（8分） 3. アンダーソン／タイプライター（2分） 4. アンダーソン／トランペット吹きの休日（3分） 5. 【指揮者体験コーナー】オーケストラを指揮してみよう！～ベートーヴェン／交響曲 第5番「運命」第1楽章より～（15分） 6. ベートーヴェン／交響曲 第5番「運命」第1楽章（6分） ～～～休憩～～～（10分） 7. 【小学生】【ボディ・パーカッション共演】自分の身体を使ってオーケストラと共演してみよう！（10分） 〔中学生〕【オーケストラ分解演奏】それぞれの楽器の役割を勉強しよう！～スメタナ／交響詩「モルダウ」より～（10分） 8. 大栗 裕／大阪俗謡による幻想曲（カット版）（6分） 9. 【全員合唱】オーケストラと一緒に歌ってみよう！～校歌、Believe、翼をください など～（4分）※ 10. エルガー／行進曲「威風堂々」第4番（6分） （アンコール）J. シュトラウス Ⅰ 世／ラデツキー行進曲（3分）</p> <p>※学校からの要望に合わせて、その他の合唱曲での共演、吹奏楽部や金管バンドとの共演などにも変更可能です。</p>		
		公演時間	90	分
	出演者	<p>指揮：松川 智哉（まつかわ ともや）、松本 宗利音（まつもと しゅうりひと） 司会：竹平 晃子（たけひら あきこ） 管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団（3管12型） ※別添「No.2メンバー表」参照 【編成】Fl & Pic:3, Ob:3, Cl:3, Fg:3 Hr:4, Tp:3, Tb:3, Tub:1 Timp:1, Per:4 Hp:1 1stVn:12, 2ndVn:10, Vla:8, Vc:6, Cb:4</p>		
	演目の芸術上の中核となる者（メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等）の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	<p>松川 智哉（まつかわ ともや） 東京藝術大学音楽学部指揮科、同大学院音楽研究科卒業。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員を務め、2021年度山田貞夫音楽財団指揮者オーディション山田貞夫音楽賞ならびに特選を受賞。オーケストラ、吹奏楽、合唱の指揮者として幅広く活動するほか、オペラの分野でも精力的に活躍している。</p> <p>松本 宗利音（まつもと しゅうりひと） 東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員、札幌交響楽団指揮者を歴任。2025年4月より大阪フィルハーモニー交響楽団の指揮者に就任。音楽界の未来を担う期待の新星として注目を浴びている。</p> <p>大阪フィルハーモニー交響楽団 1947年に創立した西日本で最も歴史のあるオーケストラ。創立から55年間朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務め、第2代音楽監督・大植英次、首席指揮者・井上道義を経て、2018年より尾高忠明が第3代音楽監督に就任。</p>		
	本公演 従事予定者数 （1公演あたり） ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	<p>出演者： 71 名</p> <p>スタッフ： 10 名</p> <p>合 計： 81 名</p>	運搬	<p>積載量： 4 t</p> <p>車 長： 8.15 m</p> <p>台 数： 1 台</p>

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュー ル)の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間		時間程度		
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去		
	9時	9時～11時		13時半～15時	10分	15時～17時		
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数 目安 <small>※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。</small>	6月		7月	8月		9月		
	10月		11月	12月		1月		
	5日			6日				
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計		11日		
<div> <div> <p>公演に係るビジュ アルイメージ (舞台の規模や演出 がわかる写真)</p> <p>※会場条件につ いて最低限必要 な条件がある場 合には、様式 No.4内「会場簡</p> </div> <div>  <p>オーケストラは体育館の舞台上は使用せず、舞台前のフロアを使用して演奏いたします。 オーケストラの専有面積は奥行13m×横幅18mです。 それ以外のフロアは鑑賞スペースとしてご利用いただけます。</p> </div> </div>								
著作権、上演権等 の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否		該当あり	該当コンテンツ名		インストゥルメンタル・ブルース タイプライター トランペット吹きの休日 大阪俗謡による幻想曲		
	該当事項がある場合	権利者名	日本音楽著作権協会	許諾確認状況	採択後手続き予定			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 大阪フィルハーモニー交響楽団 】

ワークショップの
ねらい

本公演でのオーケストラ鑑賞の前に、オーケストラの「いろは」、オーケストラとはどのような団体なのか、そしてオーケストラを構成する楽器にはどのような種類があるのか、各楽器の音が出る仕組みや音色はどのようなものかを学んでいただき、本公演でのオーケストラ鑑賞がより深みのあるものとなるようなワークショップを開催いたします。

また、本公演で吹奏楽部やオーケストラ部との共演を希望する学校には、ワークショップ時に共演曲の指導を行うこともできますので、本公演での共演がよりクオリティの高いものとなるようなレッスンの時間を提供することも可能です。

児童・生徒の
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

会場収容人数内であれば制限なし

ワークショップ
実施形態及び内容

①課外授業&ミニコンサート

弦楽器、管楽器(打楽器)の各セクションから3～4名のメンバーが学校を訪問し、45分(or 50分)の授業時間に合わせて課外授業&ミニコンサートを行います。

(1)オーケストラとは？(5分)

オーケストラとはどのような団体なのか、オーケストラを構成する楽器にはどのような種類があるのか、オーケストラの演奏風景のポスターを使って、オーケストラの並びや大きく分けて4つのグループ(弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器)に分類されることを知っていただき、それぞれのセクションの楽器がどのように音を出しているのかを学んでいただきます。

(2)弦楽器の説明と演奏(15分)

オーケストラを構成する主要楽器である弦楽器のメンバーが、弦楽器の音の出る仕組みや演奏の仕方について説明し、演奏に乗せて弦楽器の音色をお楽しみいただきます。

(3)管楽器の説明と演奏(15分)

続いて管楽器のメンバーが、管楽器の音の出る仕組みや、木管楽器と金管楽器の違い、演奏の仕方について説明し、演奏に乗せて管楽器の音色をお楽しみいただきます。

(4)質問コーナー(5分)

ここまでの説明で疑問に思ったことや、メンバーに聞きたいことを質問するコーナーです。

(5)全員での演奏(5分)

これまで説明した各セクションの楽器で一緒に演奏をお届けいたします。
2つ以上の楽器が重なったときの音の広がりやアンサンブルなどを体感いただき
本公演ではさらに何倍にも広がるサウンドをイメージしながら、本公演への期待を高めます。

②吹奏楽部(オーケストラ部・金管バンド)へのレッスン

3～4名のパートの違うメンバーが学校を訪問し、クラブ活動の時間に合わせて吹奏楽部やオーケストラ部、金管バンドなどへのレッスンをを行います。パートレッスンやセクションレッスン、合奏指導など、レッスンの内容は学校のご要望に応じて調整可能です。
また、本公演での共演を予定している学校には、共演曲の指導を行うことで、本公演での共演がよりクオリティの高いものとなるように充実したレッスンの時間を提供いたします。

その他ワークショップに
関する特記事項等

①課外授業&ミニコンサート

各校の状況や生徒数に応じて、低学年と高学年に分けてワークショップを開催したり特定の学年のみを対象にしたワークショップを開催するなど、学校からのご要望に応じて柔軟に対応させていただきます。

②吹奏楽部(オーケストラ部・金管バンド)へのレッスン

学校のスケジュールによっては、平日だけでなく土日にも訪問してレッスンを行うことも可能です。
また、1回の訪問で時間を区切って、パートレッスンと合奏指導の両方を行うなど、学校からのご要望に応じて柔軟に対応させていただきます。

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

なし

記載方法等

会場条件

公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。

A以上

m

m

条件が合えば可

m

あれば使用する可能性がある

© 2006 The Authors
Journal compilation © 2006 Blackwell Publishing Ltd

条件なし

m以内

台

m

備考

学校からの情報

学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。

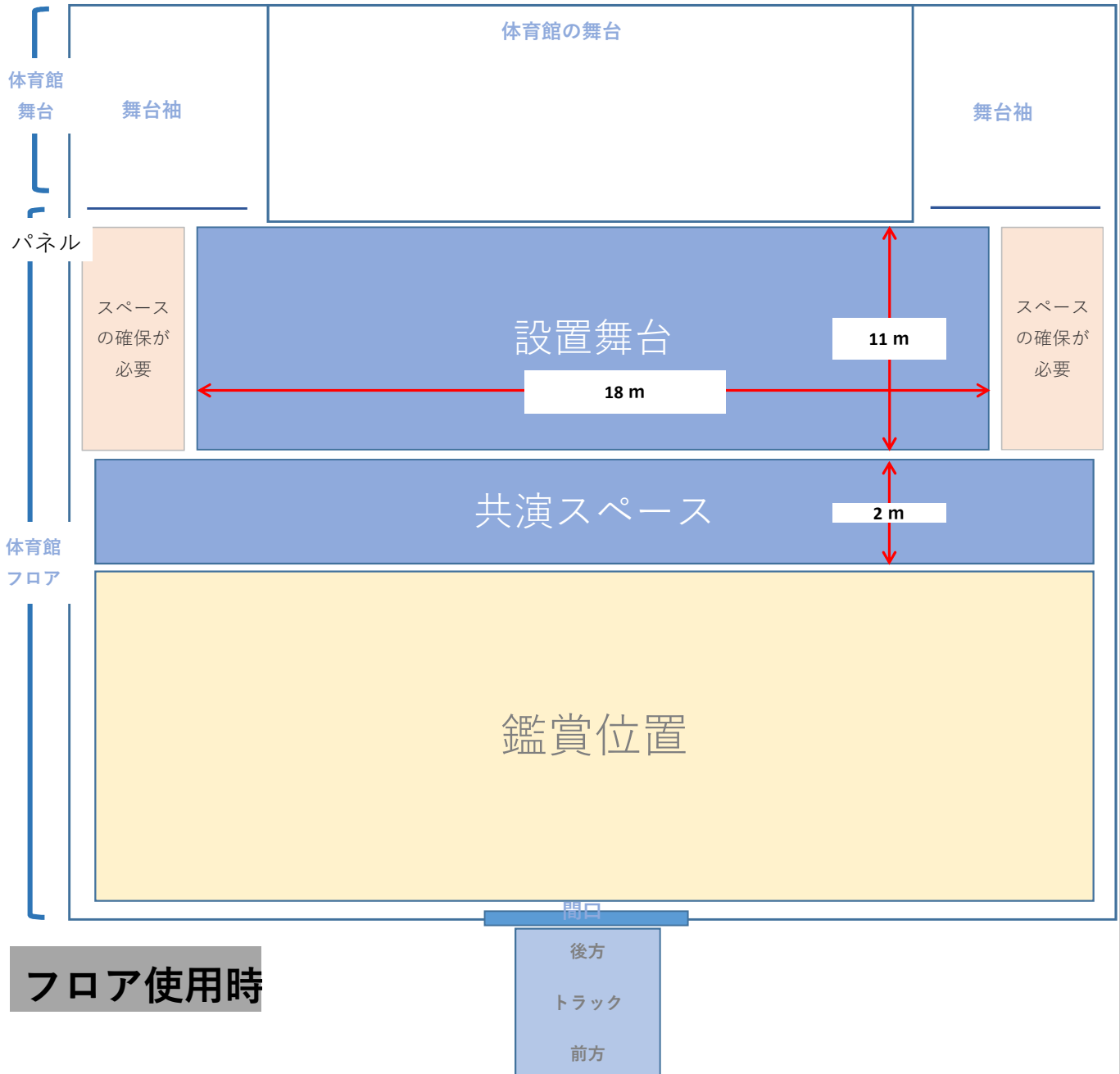
--	--

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
ワークショップ						
本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	15分	本公演開催日のゲネプロ時	オーケストラ部や吹奏楽部との共演を行う場合、所属している児童・生徒のゲネプロへの参加が必要となります。		
本公演						

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1	控室として、飲食可能な小部屋3部屋(各1名利用)および、35名程度が入る大部屋2部屋(もしくは20名程度が入る中部屋3～4部屋でも可)のご提供をお願いいたします。	
	2	本番時に本番用の黒靴(土足とは別の靴)を着用して演奏させていただきたく、ご理解願います。	
3			

(任意) 会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。
※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面



別添

なし

【公演団体名 大阪フィルハーモニー交響楽団】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

本事業においてほとんどの児童・生徒がオーケストラを初めて聴く機会であるということを踏まえ、オーケストラの醍醐味と魅力を余すことなく伝えて、クラシック音楽を身近に感じていただける機会になることを願っています。

インターネット上ではすぐに音楽を聴く機会が得られる昨今、目の前でフルオーケストラを聴くことができる貴重な機会として、子どもたちの記憶の中に初めて聴いたオーケストラの印象が少しでも残るような演奏会となるように取り組んでまいります。

将来的に一人でも多くのクラシックファンが誕生するきっかけとなるよう、一期一会の出会いを大切に、その場でしかお届けできない音楽を、メンバー一同全力で取り組みます。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

ワークショップでは、オーケストラを構成する各セクションの楽器の仕組みや演奏の仕方を学んでいただき、一日も早くフルオーケストラの演奏を聴きたいと感じていただけるような、期待を高めるワークショップとなるように実施いたします。

そして本公演では、体育館をコンサートホールに変えて本格的なクラシック作品をお楽しみいただきます。オープニングのヴェルディ作曲「運命の力」序曲からフィナーレのエルガー作曲「威風堂々」第4番まで、大阪フィルが誇る迫力あるフルオーケストラのサウンドが体育館中に響き渡ります。オーケストラの醍醐味と魅力を全身で感じていただき、初めてのオーケストラ鑑賞が一生の思い出として残るような感動体験をお届けいたします。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

担当の先生とはメールや電話を通じて密に連絡調整を行い、ワークショップから本公演に至るまでお互いに不安要素を抱えたまま開催することがないように逐一確認を行い、安心して開催できるように事務局・スタッフ一同全力で取り組みます。

ワークショップ開催時に、本公演の会場である体育館の寸法や搬入経路、控室となる各教室を念入りに確認し、学校側の懸念事項なども伺ったうえで安心して本公演を開催できるように、細かい点まで打ち合わせを行うようにいたします。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

学校ごとに地域の環境や状況が違うことを十分に理解したうえで、ワークショップや本公演の開催時間について柔軟に対応いたします。また、支援が必要な児童・生徒に対しての協力についても可能な限り対応いたします。

学校側からの要望に応じて映像を収録して対応する、難聴の児童・生徒のためにワイヤレスの補聴援助システムを活用してお話を届けるなど、学校側からの要望については演奏面に支障が出ない範囲で、できる限りの対応ができるように調整いたします。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

ワークショップ時にB1サイズのオーケストラの演奏風景のポスターを持参して活用し、それを各校にプレゼントいたします。本公演までの期間だけでなく、本公演終了後も校内に掲示いただくことで、子どもたちの心に残る思い出の一つとして本公演を思い出していただくきっかけにもなるほか、音楽の授業等でも活用いただくことで、継続的にオーケストラへの興味を持っていただくきっかけになると考えています。

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.1	【公演団体名	大阪フィルハーモニー交響楽団	】
制作団体組織	<div>■役職員 理事長:奥 正之 常務理事:小川 弘 常任理事:沖原 隆宗、角元 敬治、堂本 晃代、林 直久、樋爪 謙一郎、松村 孝夫、光枝 良 理事:入江 進、大槻 美弥子、岡 宏幸、小原 一泰、片山 修、川合 陽一郎、神田 祐樹、 斉藤 裕典、高橋 正明、多賀谷 克彦、竹下 伸介、田尻 哲也、西川 真次、 野村 洋志、山本 卓彦 監事:長田 晃一、日潟 一郎 楽団員:69名(内、特別契約4名) 事務局員:19名(常勤雇用)</div> <div>■団体構成員及び加入条件等 1. 正会員数:436社(名) (令和7年9月末現在) (内訳)法人会員:226社／個人会員:210名 2. 加入条件 この法人の目的に賛同して入会した個人または法人で、毎年下記の会費を拠出するもの 会費 法人 年額20万円／口 個人 年額 5万円／口</div>			

大阪フィルハーモニー交響楽団 メンバーリスト

(令和7年9月30日現在)

音楽監督

尾高 忠明

指揮者

松本 宗利音

桂冠指揮者

大植 英次

創立名誉指揮者

朝比奈 隆

ソロ・コンサートマスター

崔 文洙

コンサートマスター

須山 暢大

アシスタント・コンサートマスター

尾張 拓登

アーティスト・イン・レジデンス

ダニエル・オッテンザマー

第一ヴァイオリン

安藤 真奈
石塚 海斗
石原 優香
黒瀬 奈々子
三瀬 麻起子
鈴木 玲子
西馬 美奈子
表 ボルン
藤木 愛
力武 千幸

ヴィオラ

井野邊 大輔 ◎
一樂 もゆる ○
岩井 英樹
川元 靖子
北川 もみじ
菅崎 舞
松本 浩子

フルート

田中 玲奈 ○
井上 登紀

ホルン

高橋 将純 ○
伊藤 数仁
蒲生 絢子
久保井 雅樹
藤原 雄一
和久田 侑希

オーボエ

大森 悠 ○
大島 弥州夫
水村 一陽

トランペット

篠崎 孝 ○
小林 佑太郎
高見 信行

第二ヴァイオリン

田中 美奈 ○
宮田 英恵 ○
浅井 ゆきこ
奥谷 睦代
久貝 ひかり
兒玉 京子
小林 亜希子
高木 美恵子
中西 朋子
横山 恵理

チェロ

花崎 薫 ◎
近藤 浩志 ○
石田 聖子
芝内 あかね
庄司 拓
林口 真也
松隈 千代恵

クラリネット

船隈 慶 ○
田本 摂理

トロンボーン

福田 えりみ ○
新田 旭

ファゴット

久住 雅人 ○
小林 佑太郎 ○
日比野 希美

コントラバス

浅野 宏樹 ◎
サイモン・ポレジャエフ ◎
秋田 容子
松村 洋介
山田 俊介

テューバ

川浪 浩一

打楽器

中村 拓美 ○
堀内 吉昌 ○
井口 雅子
吉田 周平◎ 首席奏者(特別契約)
○ 首席奏者

ハープ

平野 花子